



# 総合評価表

## 業務名: R7-R11出力機器等最適配置調査及び出力サービス提供等業務

### 標準点

業務区分	評価項目	項番	評価基準	配点	採点指標	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社	
						評価点	特筆すべき評価の内容
必須項目	① 実施体制の具体性、確実性	1	各業務内容の実施体制が明確になっているか	50	評価の基準を満たしていれば○ 満たしていなければ×	50	
	② 本業務に対する認識度、理解度	2	各業務において受注者が提供すべきサービスの内容(国の事務の省力化とコストの縮減及びCO2の排出量削減の3つの目的を踏まえ、現状の事前調査と最適配置計画の策定、出力に係る一切のサービスの提案)が明確になっているか		評価の基準を満たしていれば○ 満たしていなければ×		
	③ 業務実施上の受注者の責務	3	発注者が求める守秘義務、法令その他の遵守事項を確実にかつ具体的に徹底されることが明確になっているか		評価の基準を満たしていれば○ 満たしていなければ×		
標準点計				50	-	50	

### 技術評価点

業務区分	評価項目	項番	評価基準	配点	採点指標			富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社	
					A (100%)	B (60%)	C (0%)	評価点	特筆すべき評価の内容
I 業務実施及び主要管理項目に関する提案	④ 出力機器等の最適配置調査にかかる提案内容	4	出力機器等の最適配置における環境配慮対策について、具体的かつ実現可能な提案となっているか	5	「具体的な環境対策が明確になっていること」と「その方法により実現が可能であること」との両方が明示されている	どちらか一方が明示されている	どちらもない	5.0	
		5	本業務の履行に要する経費の削減を図るための方策について、具体的かつ実現可能な提案となっているか	5	「具体的な削減方法が明確になっていること」と「その方法により実現が可能であること」との両方が明示されている	どちらか一方が明示されている	どちらもない	5.0	
		6	業務の効率性を確保するための方策について、具体的かつ実現可能な提案となっているか	5	「具体的な効率性確保の方策が明確になっていること」と「その方法により実現が可能であること」との両方が明示されている	どちらか一方が明示されている	どちらもない	5.0	
		7	現状の出力環境が著しく損なわれないような提案、かつ、現状から円滑に移行するための具体的な提案となっているか	5	具体的かつ実現性の高い提案が5つ以上ある	3~4つある	2つ以下しかない	0.0	評価数:2 ④登録されていたデータの移行 ⑤簡易マニュアルを用意
		8	最適配置にかかる提案の成果は、稼働率、CO2排出量、消費電力量、コスト削減額などの具体的単位、指標及び計算方法が示されているか	5	定量的な指標が全て数値として明示されている	一部の指標が明示されている	指標の明示が全くない	3.0	
		9	仕様書に定める稼働率を満たしているか	5	提案値が、3%~4%であればA	4%を超え7%までであればB	それ以外はC	5.0	
小計				30	-	-	-	23.0	

業務区分	評価項目	項番	評価基準	配点	採点指標			富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社	
					A (100%)	B (60%)	C (0%)	評価点	特筆すべき評価の内容
Ⅱ 資産管理サービスの調達に関する提案	⑤ 調達・資産管理サービスの実現性にかかる提案内容	10	全ての出力機器等の配置を把握する具体的な方法を作成し実施する提案となっているか	5	具体的な提案がなされている	—	具体的な提案がなされていない	5.0	
		11	全ての出力機器等の使用実績に対して、出力機器等の移設、機種変更、追加、撤去その他臨機の対応が可能な提案となっているか	5	具体的で実現性が高く、臨機の対応が可能な提案がなされている	具体的で実現性がある提案がなされている	なされていない	5.0	
		12	出力サービスを提供する出力機器等の資産情報、使用実績等に関する管理を確実に実行する具体的な提案となっているか	5	「リモート監視」と「データベース構築」との、両方が提案されている	どちらか一方がある	両方ともない	5.0	
小 計				15				15.0	

業務区分	評価項目	項番	評価基準	配点	採点指標			富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社	
					A (100%)	B (60%)	C (0%)	評価点	特筆すべき評価の内容
Ⅲ 最適出力環境構築に関する提案	⑥ 最適出力環境構築の実現性にかかる提案内容	13	最適配置提案に基づく出力機器等の設置について、発注者との連携により確実に実行される提案となっているか	10	「適切な人員配置体制」と、「履行可能なスケジュール」との、両方が提案されている	どちらか一方がある	両方ともない	6.0	
		14	提供される出力サービスを通して、出力枚数削減や国の業務効率の向上が実現される具体的な提案となっているか	10	具体的かつ有効な提案が3つ以上明示されている	1～2つ	ない	10.0	
小 計				20				16.0	

業務区分	評価項目	項番	評価基準	配点	採点指標			富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社	
					A (100%)	B (60%)	C (0%)	評価点	特筆すべき評価の内容
Ⅳ 運用サービス業務に関する提案	⑦ ヘルプデスク・サポート体制の実現性にかかる提案内容	15	出力機器等に関するヘルプデスクへの問い合わせ等の実績(コール数)が削減される(職員が問い合わせをしなくても良い環境等)具体的な提案・職員向けの運用支援の方法が明示されているか	4	コール数が削減される具体的な提案・運用支援の方法がなされている	—	ない	4.0	
	⑧ 出力機器等の保守体制の実現性にかかる提案内容	16	資産管理サービス業務に基づく自主的な通常保守体制の提案がなされているか	4	自主的な保守体制が提案されている	—	ない	4.0	
	⑨ 出力機器等の保守体制の定量性にかかる提案内容	17	通常保守に関して、より迅速な対応を行う具体的な数値目標を明示した提案となっているか	4	具体的な数値目標が3つ以上示されている提案がなされている	1～2つ	ない	2.4	
	⑩ 消耗品管理の実現性にかかる提案内容	18	出力サービスの提供に要する消耗品(用紙を除く)の自主的な供給体制について具体的な提案がなされているか	4	消耗品を自主的に供給する具体的な管理方法が提案されている	—	ない	4.0	
	⑪ 運用支援の実現性にかかる提案内容	19	利便性を十分確保したセキュリティ対策を実現する環境を提供する提案となっているか	4	利便性が確保されたセキュリティ対策の提案	セキュリティ対策のみの提案	ない	4.0	
小 計				20	—	—	—	18.4	

業務区分	評価項目	項番	評価基準	配点	採点指標			富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社	
					A (100%)	B (60%)	C (0%)	評価点	特筆すべき評価の内容
Ⅴ 業務の継続的維持に関する提案	⑫ 最適出力環境を維持していくための実現性にかかる提案内容	20	主要管理評価項目を踏まえた最適出力環境を維持していくための提案が、継続的なマネジメントサイクルにより契約履行期間中、随時行われる内容となっているか	10	「継続的なPDCA等のモデル活用」と「最適出力環境の維持」に係る提案の両方が明示されている	どちらか一方がある	両方ともない	10.0	
小 計				10	—	—	—	10.0	

業務区分	評価項目	項番	評価基準	配点	採点指標			富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社	
					A (100%)	B (60%)	C (0%)	評価点	特筆すべき評価の内容
VI 緊急時の対応に関する提案	⑬ 緊急時の対応に関する実現性にかかる提案内容	21	具体的かつ現実的な緊急事態対応マニュアルなどによる対応を提案しているか	10	「災害時に関する具体的かつ現実的なマニュアル」と、「災害発生時以外の緊急時の具体的かつ現実的なマニュアル」との、両方が提案されている	どちらか一方がある	ない	6.0	
		22	災害発生時の緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の業務内容を理解し、本業務における支援等が可能な提案となっているか	10	テックフォースに関して有効かつ具体的な提案が5つ以上ある	テックフォースに関して有効かつ具体的な提案が3~4つ以上ある	テックフォースに関して有効かつ具体的な提案が2つ以下。	6.0	
	⑭ 緊急時の対応に関する定量性にかかる提案内容	23	災害発生に際して迅速かつ的確に対応する為の体制が時間等の定量的な指標により示された提案となっているか	10	時間等の定量的な効果が示された対応体制が提案されている		ない	10.0	
		24	出力機器の故障、トラブルなど災害発生時以外の緊急時に迅速な対応をどのように行うか具体的な数値目標を明示した提案となっているか	10	具体的な数値目標を明示した提案がなされている		ない	10.0	
小 計				40	—	—	—	32.0	

業務区分	評価項目	項番	評価基準	配点	採点指標			富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社	
					A (100%)	B (60%)	C (0%)	評価点	特筆すべき評価の内容
VII その他	⑮ ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標	25	①プラチナえるぼし認定企業 ②えるぼし認定企業(第3段階)、プラチナくるみん認定企業又はユースエール認定企業 ③えるぼし認定企業(第2段階)又はくるみん認定企業(新基準) ④えるぼし認定企業(第1段階)又はくるみん認定企業(旧基準) ⑤一般事業主行動計画の策定	5	① 5点 ② 4点 ③ 3点 ④ 2点 ⑤ 1点			4.0	
	⑯ 賃上げを表明した企業等	26	【大企業】令和7年度(会計年度)の4月以降に開始する参加者の最初の事業年度または令和7年(暦年)において、対前年度比または前年比で給与等受給者一人当たりの平均受給額を3%以上増加させる旨、従業員に表明している場合  【中小企業等】令和7年度(会計年度)の4月以降に開始する参加者の最初の事業年度または令和7年(暦年)において、対前年度または前年比で給与総額を1.5%以上増加させる旨、従業員に表明している場合	10				10.0	
小 計				15	—	—	—	14.0	
技術評価点 計				150	—	—	—	128.4	

合 計				200	—	—	—	178.4	
-----	--	--	--	-----	---	---	---	-------	--